



地域活性×梁商品券

令和4年6月9日から28日までの20日間、6月定例会が開催されました。

市長からは報告4件と議案9件が提出され、議案1件は承認、8件は可決しました。報告の4件は、各会計における繰越計算書の報告でした。また、追加で工事請負契約の締結についての議案が1件提出され、可決しました。

そのうち特に3件の議案については、各常任委員会の審査においても、いろいろな角度からの審議があり、どこまで執行部に情報開示を求めることができるのか、十分な説明がないのではないかといった意見がありました。また、本会議の採決で賛成多数で可決しました。

なお、陳情が2件提出されましたが、いずれも不採択となりました。



# 6月定例会 / 議会と執行部の関係性を考える議会に

総務文教委員会

## 土地開発公社の廃止について賛否両論

総務文教委員会で審査した案件は5件であり、1件は承認、4件は原案どおり可決することに決しました。

「高梁市土地開発公社の廃止」について、議員からは一年前に理事の規約改正があったばかりでの廃止には疑問を感じる。議案の提出が唐突すぎないか。第3次行財政改革の中でも公社の廃止は掲げられているが、昨年の規約改正時には廃止を含めての検討との説明は受けていないのではないかと意見がありました。

執行部からは、今後、公共事業が減少すること、土地の先行取得の必要性が無くなったこと、

産業経済委員会

## 困っている市民への新型コロナウイルス支援策

産業経済委員会で審査した案件は4件で、全て原案どおり可決することに決しました。

「令和4年度高梁市一般会計補正予算」について、この補正予算の主な財源は、市に交付される国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。市民1人あたり3000円の商品券配布のための9420万円、運送事業

者支援の2100万円、農業

関連支援700万円、学校給食費原材料費補助830万円など、総額1億3380万円が計上されました。

そのうち農業関連支援の補助金700万円については特に質問がありました。この補助金は、令和3年に前年よりも20%以上減収した農業者（農業収入が全収入の50%を超える農業者）を対象に支援するもので、個人50件で計500万円、法人10件で計200万円を予定しています。

「米価の下落、肥料・飼料価格が高騰し、これからも不透明な状況が見込まれ、農業者はよりいっそう厳しくなる。高梁市の基幹産業を担っている農業者に対する補助金の設定が、低すぎるのではないか。」との質問が相次ぎました。

これに対して執行部からは、

市民生活委員会

## 新型コロナウイルス対策や2件の陳情を審査

市民生活委員会では、議案4件と陳情2件を審査しました。

「高梁市愛宕こども基金条例」は、市民からの8000万円の寄付金により、高梁市の子どもの成長と発達を応援するとともに、困難を抱えた

## 「コロナ対策予算などを審議

と、年間約7万円の経費節減が見込めることなど、公社廃止の理由として説明がありました。

委員会では賛否が拮抗しましたが賛成多数で可決となりました。

子どもの健全な育成と自立を支援するための基金を設置する条例です。執行部からは、寄付の申し出から基金設置に至る経緯や今後の運用方法について詳細な説明がありました。

賛成討論の中では寄付者への謝辞もあり、委員会では全員一致で可決しました。

「令和4年度高梁市一般会計補正予算（第2号）」では生活困窮者就労準備支援事業の予算が計上されていたことから、事業内容等について質問がありました。この事業は、派遣社員などの急な雇い止めにより、寮などを退去した方に対して一時的に宿泊場所を提供するとともに、食事や日用品などの提供を行い、自立に向けた支援を行う事業です。これまで年間4件程度相談があったとの説明がありました。

陳情2件のうち、「子ども（0

〜14歳）へのワクチン接種即時中止を求める陳情書」では、子どもへのワクチン接種中止、新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する情報の周知などが陳情項目となっていました。

陳情者に意見陳述をしていただいた上で審査した結果、市からの情報発信については今後もしっかりすることを求めるが、本市のワクチン接種事業は強制的なものではないという意見があり、採決の結果不採択となりました。



市民生活委員会